

平成27年5月八戸市教育委員会定例会議録

開催日時 平成27年5月22日(金) 午後1時30分

場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室

教育委員職氏名	教育委員長	築瀬 真知雄
	教育委員長職務代行者	大庭 文武
	教育委員	岡本 潤子
	教育委員	武輪 節子
	教育長	伊藤 博章
事務局員職氏名	教育部長	佐藤 浩志
	教育部次長兼教育総務課長	野田 祐子
	教育部次長	齋藤 信哉
	図書館長	藤田 俊雄
	学校教育課長	小笠原 徹
	教育指導課長	木村 一夫
	社会教育課長	田中 勉
	是川縄文館副館長	清川 定吉
	総合教育センター所長	原 寿
	博物館副館長	古里 淳
	教育総務課参事	尾崎 雅祥
	北地区給食センター所長	外館 一良
	東地区給食センター所長	中里 親弘
	西地区給食センター所長	清川 彦一

開　会

(築瀬教育委員長)

ただいまから、平成27年5月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事録署名は武輪委員を指定いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長　資料に基づき説明)

(大庭教育委員長職務代行者)

いま説明のありました青少年のための科学の祭典ですが、私は委員になってから初めてこの機会に触れるようになったのですけど、実際に高校生を見ていて将来技術系の方に進みたい、工学部系統の方に進みたいとなった場合に、高校での選択でなくて、高校で初めて決めるのではなくて、小中学校で理科的なものに関心を持った、そういう子は本当にその後の進路決定にあたっても志望が固いんですね。だからこの学部なんだと、理工系に行くんだと。そういうふうな意味では、ここでの小中学生を対象としたこういう体験というのは、本人にとっての将来の選択というふうな意味でも、大きな意味を持っているなど感じております。いま充実したものになっていけばいいなと願っています。

議案第41号　八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会委員の委嘱について

(清川是川縄文館副館長　資料に基づき説明)

(築瀬教育委員長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願ひします。なければ、議案第41号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

ご異議がありませんので、議案第41号を原案のとおり決定いたします。

議案第42号　八戸市博物館協議会委員の委嘱について

(古里博物館副館長　資料に基づき説明)

(築瀬教育委員長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願ひします。なければ、議案第42号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

ご異議がありませんので、議案第42号を原案のとおり決定いたします。

議案第 43 号 八戸市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について

(木村教育指導課長 資料に基づき説明)

(築瀬教育委員長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願ひします。なければ、議案第 43 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

ご異議がありませんので、議案第 43 号を原案のとおり決定いたします。

報 告 平成 27 年度八戸市史講座の開催について

(藤田図書館長 資料に基づき説明)

報 告 友好都市蘭州市訪問団派遣について

(木村教育指導課長 資料に基づき説明)

(武輪教育委員)

3 番にあります訪問内容のところの鈴木書屋というのがございますが、そちらはどういった内容の訪問なのかということと、どういった経緯でこちらを視察することになったかお聞かせ頂ければと思います。

(木村教育指導課長)

まずは鈴木書屋について説明いたします。これはご存知のとおり八戸市の鈴木継男様がこれまでも蘭州とは 30 年以上にわたり交流を続けて参りまして、その交流を通して蘭州の方に寄贈した図書等を収めたものであります。私もいま初めて行きますので期待しています。それからきっかけというのは、どのきっかけを。

(武輪教育委員)

すみません、鈴木継男様とこの鈴木さんというのが今わかりました。その書屋というのはあちこちにあるんですか、ひとつ大きなところに、行って見てから。はい、わかりました。

(築瀬教育委員長)

ご存知の方いらっしゃいますか。

(野田教育部次長兼教育総務課長)

一ヵ所になっていると思います。本だけではなくてパソコンとかコンピューターの寄贈されたものとか。

その他

(大庭教育委員長職務代行者)

時間があるようですので二点ほど。一つは、ずっと委員会でも、ありがたいというお話をしてきたんですが「八戸市の奨学生を募集します」ということを広報はちのへ6月号で掲載しました。その中で今年度新しい制度ができましたということで、第二種給付型の説明もしております。せっかくこの制度ができましたので、ただ広報だけでは必要な生徒保護者でもなかなか気がつかなかつたということがあるかと思いますので、高校については10人ほど、これはやはり中学校を通してこういうものがあるよというふうなことを是非紹介して頂いて制度が活用されるようにですね、努めていただければと思います。広報だけだと不十分なところがある。

(齋藤教育部次長)

広報の話を出していただき大変ありがたいと思っています。これまで広報だけでなく中学校全部それから高等学校、高専、全ての学校の方にも同じようなお知らせの文書を出して、そして学校にはそのような対象になる可能性のある子ども達には直接お知らせを出して頂くというシステムをいま作っておりました。よってこれで十分というわけではないんですが、市のホームページにも掲載しておりますし、機会あるごとに周知の方をして、とにかく積極的に活用していただくことをお願いしていきたいと思っておりました。

(大庭教育委員長職務代行者)

先ほど委員長からもお話があったんですが、青少年の海外派遣事業についてなんですけども、これもやはり私は非常に良い体験を中学生達はして帰ってくると、羨ましいなど。この年齢で短期間ですけれどもそういう体験ができるのが非常に羨ましいなと思いながら、良い体験ができる機会だと思っております。やっぱり海外の生活を体験した子ども達は、高校生になってもこの話は出てくることがあります。こういう体験をして、だから将来につながっているんですよ。だから自分はこういうふうなのに進みたいんだと視野を広げたことを、進路に活用していくとそういうふうなことも実際にありますので、この派遣事業、今度の蘭州の方も含めてですけれども、広い視野を持った子ども達を育てるというふうな意味合いで海外派遣の事業、これからも充実したものになってもらえばいいなと思っています。

(篠瀬教育委員長)

私から一つですね、今年の3月の定例会で。ちょっと社会教育課長さんから一つお聞きしたいというか、要望があるんですけれども。今年の3月の定例会で私の方から市立公民館の館長さんの職員に対する態度とか自らの役割の自覚について要望を述べさせてもらいました、二点ほどですね。その際に課長さんから今年度は今まで行っていなかった、主事さんの研修は行っているんですが、今まで行っていなかった館長さん対象の接遇などの研修会を、外部講師を招いて行いたいというご回答がありました。さつきの教育長の資料の中に、5月11日に地区公民館の館長研修会というのが載っています、それがそうかなと思ったんですが、その際の研修内容について概略でいいですので、課長さん、概略で。

(田中社会教育課長)

まず**45**分ほど教育長から講話を頂きました。内容は組織のあり方というんでしょうか、教育長がいつも仰ってる風通しの良い職場であるとか、色々な人材を組み合わせて引っ張って行くのが課長だとか、あと地域のつながりであるとかの話をして頂きまして、私も一緒に聞かせて頂きましたが非常に、教育長の生い立ちからお話されたものですから皆さん身に染みて実感としてわかったようです。その後は市民連携推進課の方から公民館を核とした地域作りということで、改めて公民館の役割というものを説明させて頂きました。この他に時期は設定しておりませんけども、先ほどお話のあった外部講師を招いた研修会、これは館長と主事さん3名全員含めて午前午後、午前午後と二日間ほどで接遇研修等をやりたいなと考えています。先日は本当に教育長が**30**分でお願いしたところを熱く**45**分語っていただきまして。

(築瀬教育委員長)

後で教育長室で教育長から詳しい話も聞いてみたいと思いますが、やはりいま課長さんからお話があつたように、館長を含め公民館というのは新たな役割が担われているわけですし、市民の目とか地域の方の目というのもありますし、やはり市民や地域住民に対して親切にですね、職員に対しても館長はそうなんですが、そういう対応が大事だなと思っていますので是非そういう研修の中で一層自覚等を高めて頂ければありがたいなと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

閉　　会

(築瀬教育委員長)

これをもちまして平成**27**年5月の教育委員会定例会を終了いたします。ご苦労様でした。

(午後2時5分閉会)